

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●フェブラリーSではモーニンがG I 初制覇を果たす

2月21日(日)のフェブラリーS(G I)ではモーニン(牡4歳/栗東・石坂正厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。勝ちタイム1分34秒0(重)は2014年にトロワボヌールが記録した1分34秒1(不良)をコンマ1秒更新するコースレコード。デビューから7戦目・282日目のJRAダートG I 制覇は史上最速の記録となります。

●横山典弘騎手がJRA通算2600勝を達成

2月21日(日)の1回東京8日・第5レースではビッシュが1着となり、同馬に騎乗した横山典弘騎手(美浦・フリー)は、史上3人目、現役では武豊騎手に続く2人目の記録となるJRA通算2600勝(1万8106戦目)を達成しました。

●岩田康誠騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

2月20日(土)の2回京都7日・第1レースでヤマニンロスターに騎乗した岩田康誠騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で、史上30人目、現役では18人目、地方競馬出身の騎手としては初となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

●田村康仁調教師がJRA通算400勝を達成

2月20日(土)の1回東京7日・第6レースではハレルヤボーイが1着となり、同馬を管理する田村康仁調教師(美浦)は、現役47人目となるJRA通算400勝(5054戦目)を達成しました。

●オーブルチェフの競走馬登録抹消

2011年全日本2歳優駿(Jpn I)などの勝ち馬オーブルチェフ(牡7歳/美浦・萩原清厩舎)は、2月17日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績10戦2勝・地方2戦2勝で、今後は福島県南相馬市の松浦ライディングセンターで乗馬となる予定です。

●高松宮記念、中山グランドジャンプの選出馬決定

高松宮記念(G I)に昨年の勝ち馬エアロヴェロシティ(騾8歳/香港・P.オサリバン厩舎)の予備登録があり、選出馬となりました。また中山グランドジャンプ(J・G I)にはアイルランドのW.マリンズ厩舎からアークティックファイアー(騾7歳)、ディコシモ(騾5歳)、フェリックスヨンガー(騾10歳)、オーストラリアのE.マズグロウ厩舎からアーバンエクスプローラー(騾9歳)とチュビアー(騾8歳)、以上計5頭の予備登録があり、全馬が選出馬となりました。なおフェリックスヨンガー、アーバンエクスプローラー、チュビアーはバガサスジャンプSにも登録、選出馬となっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●飛燕賞は北海道デビュー馬のサブール【各地の主要3歳重賞】

飛燕賞(2月21日、佐賀、1800円)は、5番手から向正面半ばで早々と先頭に立った2番人気のサブール(牡、父フォーティナイナズサン)が、単勝1.4倍で圧倒的人気の花吹雪賞馬ドンプリムローズに3馬身差を付けて楽勝、4連勝を飾っています。

●フェデリコ・ボッサ騎手(イタリア)に短期騎手免許

イタリアのフェデリコ・ボッサ騎手(31歳)が、地方競馬全国協会から短期騎手免許の交付を受け、2月22日からの1か月間、川崎の佐藤博紀厩舎に所属して騎乗することになりました。

●連覇を狙うアムールブリエ、3月2日のエンプレス杯(川崎)

エンプレス杯(Jpn II、川崎、2100円)は、他は条件馬が大半というメンバー構成だけに、昨年の覇者アムールブリエが堅い中心となり、以下イントロダクション、タマノプリュネット、ヴィータアレグリア、ティンパレスの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●香港クラシックC~サンジュエラリーが4歳シリーズを連勝

ローカルG 1「香港4歳シリーズ」の第2弾、香港クラシックC(シャティン競馬場、芝1800円)は2月21日に行われ、2番人気のサンジュエラリー(オーストラリア産、騾馬、父スニツェル)が5、6番手の最内から外に出して狭い馬群をすり抜け、第1弾の香港クラシックマイルと同様ワザを2着に抑えて連勝です。香港で通算7戦6勝、その前にオーストラリアで4戦2勝。勝利騎手R.ムーア、調教師J.サイズ。次走はシリーズ最終戦の香港ダービー(3月20日、芝2000円)。

●豪G 1ライトニング~1番人気チャタクアが鮮烈な差し脚

今年のグローバルスプリントチャレンジ第1戦のブラックキャピアライトニング(オーストラリアG 1、芝・直線1000円)は2月20日、メルボルン郊外のフレミントン競馬場で行われ、1番人気のチャタクア(騾5歳、父エンコスタデラゴ)がスタンド側のラチ沿いから身上の追い込みを決めて優勝、通算19戦10勝、G 1は昨年のT. J. スミスS、マニカトSに次いで3勝目です。勝利騎手D.ダン、調教師M. W & J. ホークス。短アタマ差2着はテラヴィスタ。